

目次

序にかえて (西村純) i

I

学界の権威と学問の権威	3
自然の深さを求めて	10
軍事科学と自然科学者の悩み	21
性に合った流儀を選べ	35
研究課題の選び方	37
文を忘れた若者	39

智恵も無料の日本 43

大学改革の方向 52

II

地球の熱汚染 67

Feynman 博士の思い出 80

生殺しにされている物理学 88

現代科学を切り開く道 (1) 92

——宇宙化学から総合研究機構まで——

現代科学を切り開く道 (2) 109

——イタリヤの特異点——

現代科学を切り開く道 (3) 127

——外国に対するコンプレックス——

目次

暗い谷間の研究者	144
——欧米をめぐる——	
モスクワ日記	193
宇宙観の発展	211
III	
超多時間理論からくりこみ理論へ	217
朝永理論の生い立ち	237
新分野の開拓に示された情熱	244
戦後素粒子論の出発	259
——草創期の大阪市立大学理工学部——	
湯川・朝永以後の研究者たち	284
異端の宇宙論は可能か	296

ガンマ線天文学今昔

.....

315

早川幸男・略年譜

329

解説…偉大な友、早川幸男さんを失って（小田稔）

331

